

いいだ 市議会だより

No. 187

平成25.7.23



編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町

本日の日程

09時30分 開会 森川浩夫
09時45分 林さんの講話
10時15分 献立の説明 奥田昌義
10時20分 調理開始
11時45分 試食
12時15分 片づけ
12時30分 終了



第2回定例会開催
ズバリ市政を問う
(一般質問) ④⑤

6月の食育月間に開催された
「親子でチャレンジ料理教室」の様子

第2回定例会

平成25年度飯田市一般会計補正予算 (第1号)案など26議案を可決・同意

定例会のあらまし

第2回定例会は、5月30日から6月21日まで23日間の会期で開催されました。

飯田市税条例等の一部を改正する条例、平成25年度飯田市一般会計補正予算(第1号)案など、26件が上程されました。うち15件は報告を受け、人事案件1件を本会議で同意、除く10件は、所管の委員会での慎重な審査を経て、本会議でいずれも原案のとおり可決されました。

このうち 議案第88号「飯田市下水道条例及び飯田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について」は、下水道事業の経営安定のため、使用料の額を平均8.71%改定する内容であり、これについての委員長報告に対して、反対、賛成それぞれの立場から討論がありました。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

また、一般質問では21人の議員が市政全般にわたる質問を行いました。4ページから紹介し

議案等に対する質疑と審査

提出議案等については、総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

この中で、産業建設委員会における「議案第88号」の審査において、第1回定例会での会議規則の改正により可能となった、議員間「自由討議」(3ページに説明があります。)を初めて実施し、議論を深めました。

質疑等の内容は、6ページからの常任委員会

本会議での討論

このうち「議案第88号」については委員長報告に対して、反対、賛成それぞれの立場から討論がありました。

条例改正に反対

●リーマンショック以降、低所得者世帯が増加している今、下水道使用料値上げは市民生活に

重くのしかかる。不足分については一般会計の繰り入れを増やすことで対応すべきであり反対。

条例改正に賛成

●今後5年間の経営見通しを立て、一般会計から基準以上の公費を投入し、市民負担軽減を図ったうえで値上げ案であり、総合的な視点に立った苦渋の判断であり賛成。

●長期的視点に立つて妥当な内容であり、厳しい経済状況の中で、市民からギリギリ理解いた

●下水道事業の公営企業会計への移行方針を示し、使用料算定期間を3年から5年に変更し、さらに消費税値上げ等に配慮した、やむを得ない値上げであり賛成。

同意した人事(敬称略)

○人権擁護委員候補者推薦

塩澤 初美
川島 一慶

リニア推進特別委員会

6月19日に開催し、リニア中央新幹線計画の現状についての報告をうけ、経過として6月12日に市内で開催されたJR東海主催の中央新幹線計画の説明会についての概要説明がありました。

主な質疑は次のとおりです。

▼トンネル掘削による残土処理に関し、市民の中に不安の声がある。近隣町村や県とも事前に協議しておくべきだが、市の考えは。

残土処理に関しては、JR東海の計画を待ちたいとの考えである。具体的には、県が調整することとなっているので、県を通して情報収集しながら、市として検討をしたい。

▼他県の説明会では、工事開始までの流れが説明されたとのことだが、事業用地取得に関し、市は協力するか。

用地に関して、JR東海からは正式に依頼はないが、関係する自治体に協力をお願いしたいとのことである。そうなれば、市として、事業促進のため協力していく考えである。

▼今年度の市政懇談会ではリニア中央新幹線・三遠南信自動車道全線開通を見据えた地域づくりをテーマに行っていると聞いているが、地域の考えを集約し、市として生かしていくことは考えられないか。

リニア中央新幹線の駅位置やルートがどこになっても、それぞれの地域で考え得るテーマであり、現時点では、集約して整合をとっていくことを考えていないが、それぞれの地域の考えを情報交換する場をいずれかの機会に設けたい

自由討議とは？

第2回定例会では、委員会の審議において初めて、議員間の自由討議が行われました。ここでは、自由討議について説明します。

◎自由討議の狙いは

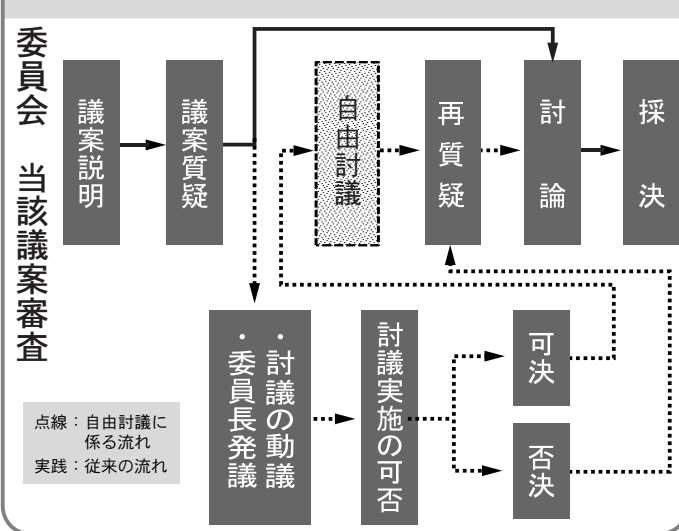
「論点や課題など合議体の議会として同じ方向性を見出し、意志をまとめるとともに、多様な意見を代表する議員として、質疑や討論に加え討議による経過と議決の結果を、市民に十分説明する」ためです。

議会改革の取り組みにより、会議規則を改正し委員会において行うことができることとなりました。

議会報告会や行政評価における議員間の自由討議の更なる充実が必要なことから、「位置づけ」を明確にして実践していきます。

と想っている。今後もアクセス道路を含めた道路ネットワーク等、市が得た情報を地域に示し、地域づくりについて地域の皆さんと考えて参りたい。

議案審査における議員間自由討議のイメージ



◎おのづから自由討議を促す力

- 論点（争点）が明らかでない案件
- 問題が顕在化しており、議案としての熟度が低い案件
- 料金や使用料の値上げなど市民生活に影響が大きい事案

などを想定しています。

市政を問う!

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第2回定例会での一般質問の概要を紹介します。(質問順)

通学路安全対策の進捗状況は

竹村 圭史 議員 (会派のぞみ)

Q 通学路安全対策アクションプログラムで、対策目標年次が短期となっている箇所の進捗状況は。

A プログラムによる市内の対策予定箇所は93箇所であり、そのうち整備目標を短期としたのは70箇所である。既に20箇所は整備済みであり、今年度40箇所を施工予定としている。来年度残り10箇所を予定しているが、着実に対策工事を推進したい。

リニア駅周辺の社会基盤整備に対し基本的な考えは

湯澤 啓次 議員 (会派のぞみ)

Q リニア駅周辺の社会基盤整備に対する基本的な考え、構想は。

A これからの人口減少、少子高齢化といった大きな構造変換の中で社会基盤整備は、単に利便性を追求するものではなく、デザイン思考的アプローチの視座に立ち、訪れる人に感動を与え、住む人が誇りに思える地域づくりを念頭に、具体的な事業を搭載していくことが必要と考えている。

マイナンバー法における個人番号カードを市はどのように活用するか

福沢 清 議員 (会派みらい)

Q マイナンバー制度における個人番号カードを、積極的に活用する自治体もあると聞くが、飯田市ではどうか。

A 多くの市民がカードを持つことになることから、市民の利便性を図っていきたいと考えているが、システムの制度設計や改修が大きなものとなるため、まずは国が想定している最低限のシステムを導入後、検討することとしたい。

ユニバーサルデザインの視点からの道路維持補修は

清水 可晴 議員 (市民パワー)

Q 道路維持補修の考え方をユニバーサルデザインの視点から、車優先でなく歩行者をも考えた指針に見直したらどうか。

A 歩行帯の維持管理については通常の道路舗装維持補修とは別にユニバーサルデザインの視点から維持管理を行っていく。また、「市道の維持管理方針」への掲載も検討する。

林業活性化に向け「キコリ学校」など新たな取組みは

湊 猛 議員 (会派のぞみ)

Q 林業の活性化に向け、若者の育成、人材育成の観点から「キコリ学校」など新たな取組みを検討してはどうか。

A 長野県では養成事業を含め多くの講座を直接開催するとともに、関係財団に

委託し養成研修等を実施している。市としては、それらの講座等への積極的な参加と、各種制度を活用いただけるように情報提供に努め、林業関係への若者の就労を促進したい。

JR飯田線無人駅舎を取得し、活用してはどうか

森本 政人 議員 (市民パワー)

Q JR飯田線無人駅舎について、JRから賃借するより取得し、高齢者の集う場や各種団体の活動拠点等、新たなコミュニティの場として活用してはどうか。

A 駅舎に関しては、今までも飯田駅に観望している。無人駅舎の活用についても、主な利用者や住民の皆さんからご意見等があれば、それをうかがう中でJRと調整したい。

保育料の改定内容は

古川 仁 議員 (日本共産党)

Q 4月からの保育料を改定したが、改定内容と減額の対象人数は。

A 今年度の保育料は、従来の一括軽減を更に拡充し一人当たり平均月額約4千500円の軽減を実施する。また多子世帯への軽減も、18歳未満の兄弟がいる場合、第3子の入所で20%、第4子で70%軽減し、第5子以降入所は無料とした。一括軽減は入所児童全員が該当し、多子世帯への軽減該当は648人である。

災害に備えた備蓄の現状や支援の考えは

山崎 昌伸 議員 (無会派)

Q 災害に備えての家庭や企業の備蓄状況は。また備蓄への支援をどう考えるか。

A 家庭の備蓄状況は昨年度の調査で38.4%、企業に関しては把握していない。個々の備蓄に対する直接的な支援は難しいが、企業への働きかけや情報提供も含め広報活動に努めたい。今年度までの緊急災害対策を、来年度も継続しより充実させていきたい。

市民意識調査の結果への改善策は

木下 克志 議員 (会派のぞみ)

Q 市民意識調査結果で、地域の活動や課題を「良く知っている」が約8%、「知らない」が約30%となっているが、この差をどう考えるか、また改善策は。

A 「知らない」が30%であるが、特に20歳代は50%以上という結果はとても残念である。無関心層、若年層へのアプローチをどのようにしていくかはすべてに共通する重要な課題であり、市としても地域としても一層の努力をしていく必要があると考えている。

飯田を離れた若者が帰ってくるための受け皿は

吉川 秋利 議員 (会派のぞみ)

Q 一旦飯田を離れた若者が帰ってくるための受け皿として必要なものは何か。

A 「人材サイクル」を構築することを最も重要課題として、産業界と連携して、地域づくりを重点施策として推進してきた。今後、経済環境、産業界構造が変化している中にも、多くの若者が当地でいきいきと働き、暮らせるよう、さらに産業振興を進めたい。

「人口減少の時代」への第5次基本構想における対応は

井坪 隆議員（会派みらい）

Q 「人口減少の時代」へ後期基本計画の5年間でどう備えていくか。

A 人口減少の傾向に対し課題を明らかにし戦略的に対応する必要がある。これまでも、産業づくり、人づくり、地域づくりを総合的に進めるために取り組んできており、さらに地育力や定住自立圏など重層的な取組みが課題解決と将来への布石となると考えている。

「先天性風しん症候群」への助成ができないか

村松 まり子議員（公明党）

Q 「先天性風しん症候群」への対応で、妊娠を予定、希望している女性やその夫へのワクチン接種費の助成はできないか。

A 少子化が進む中で、生まれてくる子どもたちの健康を守ることは重要な課題であると認識している。予防接種への助成については、国、県の動向を注視し関係機関とも相談しながら検討していきたい。

■防災・減災対策の強化について
■公文書の管理について

市税等の滞納者に対し児童手当等からの差し押さえはないか

後藤 莊一議員（日本共産党）

Q 市税等の滞納者に対し、児童手当や児童扶養手当などの子どもにあてた手当からの差し押さえはないか。

A 差押禁止財産は、国税徴収法で規定されているほか、生活保護費、特別障害者手当、特別児童扶養手当、それに児童扶養手当などが差し押さえを禁止されている。当市においても、これらを差し押さ

ていない。
■道州制について
■凍霜害について

生活保護法改正により窓口対応は

小倉 高広議員（日本共産党）

Q 生活保護法の改正により、申請時に収入や資産を記した書類の提出が義務付けられるが、それにより助けを求めてきた人を窓口で返すことにつながらないか。

A 収入や資産の報告の義務化は、不正・不真正受給対策として設けられるが、例外も認めることで法案修正が行われることから、この義務化が申請のハードルをあげるということにはならないと考える。

凍霜害被害への対応と予防策は

原 和世議員（会派みらい）

Q 凍霜害被害への支援策と、今後の予防策は。

A 今回の凍霜害の被害規模は大きく、今後の果樹の育成状況により、来年の生産につながるよう、段階的な支援を関係機関と相談し検討したい。予防策については農家が対策を取りやすいよう関係機関が連携し情報を伝えることが重要である。情報伝達手段の周知や情報内容の拡充も含め取り組みたい。

■人口減少社会の中でどうリニア・三遠南信自動車時代を迎えるか

活動の拠点となる文化スポーツ施設建設の考えは

熊谷 泰人議員（会派のぞみ）

Q リニア時代を見据えた時に各種競技の国際大会など大規模イベントに対応できる総合体育施設を望む声があるがどうか。

A リニア時代を見据えたロードマップで、リニア効果をいかす事業実施ができるよう、今から先行的に取組む必要があると考えている。文化スポーツ施設のあり方については、総合的かつ長期的な視野から調査・研究を要する課題であると捉えている。

子どもの貧困対策についての考えは

永井 一英議員（公明党）

Q 子どもへの貧困対策の推進に関する法律が施行される見込みであるが、対策など教育委員会の考えは。

A 教育施策を展開する中で、これまでの経済的理由による行政支援から、新たに貧困という定義による支援策を講じる必要性が生じる。国・県の施策の展開を見据え、実態に即した対応策を研究していきたい。

■生活困窮世帯への対応について
■若者への就労支援について

平和学習への支援策について

木下 容子議員（市民パワー）

Q 満蒙開拓平和記念館を学校教育における平和・人権学習にいかすために支援が必要と考えるがどうか。

A 本年度は特に中学校における平和・人権学習にこの施設を利用することを呼びかけている。入館料の全額補助、市マイクロボスの利用、語り部を招いた授業に対しての講師謝礼の助成を行っている。

■竹林・森林整備と林業の活性化について

三遠南信自動車道をいかに工業用地の確保は

清水 勇議員（会派のぞみ）

Q 利便性が高い三遠南信自動車道のインター周辺での工業用地確保は、中山間の振興の観点からも必要と考えるがどうか。

A 三遠南信自動車道のインターは東西南北の交通結節点となることから、多方面にアクセスできるといった優位性がいかにある。このため企業誘致に有利であると考える。インター周辺のアクセスの良好な場所に用地確保するのが効果的と考える。

■三遠南信自動車道とアクセス道路について
■中山間地域振興計画について
■子育て支援について

松尾地区の内水排除対策は

木下 徳康議員（会派のぞみ）

Q 松尾地区においては祝井沢川、金色洞川の内水によって浸水する恐れがあるが対策はどうしているか。

A 降雨時には、雨水排水を上流部で松川等に排水できるように自動転倒ゲートを設置している。市では内水排除の装備として排水ポンプ車3台、排水ポンプ設備1台を所有。また、毎年地元・関係機関等で合同の排水訓練を実施している。

■飯田市の交通対策について

民生児童委員の心身の健康を守るための支援が必要ではないか

新井 信一郎議員（会派のぞみ）

Q 民生児童委員のニーズの高まりに対し、その活動において心身の健康を守るような支援が必要と考えるがどうか。

A 地域のために日々活動をされている民生児童委員の皆さんが、心身の健康を守り活動いただけるよう、支援策については検討したい。

■凍霜害から見る農業の現状と今後の農業施策について

総務委員会

5月16日に管内視察、6月13日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管内視察の模様を紹介します。

議案第86号

飯田市条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

地方税法等の改正に伴い次の点の改正
・市民税の住宅ローン控除の見直し
・固定資産税の特例措置の見直し
・納税環境整備のため、延滞金の特例の見直し

東日本大震災で当市に居住している被災者は南相馬市からの人たちが

▼東日本大震災に関する改正の説明の中で、当市に居住している被災者が17世帯、39人とのことだが、これは南相馬市からの人たちが

議案第90号

飯田市 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

案件の概要

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、飯田市における新型インフルエンザ等対策本部に関し必要な事項を定める。

条例整備は国からの指示によるものか

▼国の特別措置法施行に伴い、整備せよということか

国からの法定指示事項による条例制定である。

風評による混乱への対策はどうか

▼過去にあった風評による混乱への対策は十分か

政府に対策本部が設置され緊急事態宣言がされた後、県及び市町村が対応することになる。

請願・陳情審査
市民の願いは怎么样了

請願第1号

■慎重な審査の結果

「採択」としました

★請願の要旨

国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書を提出願いたい

★請願者

飯田市職員労働組合
執行委員長 伊藤尚志氏

★意見書の提出

地方財政の充実・強化を求める意見書として関係行政庁へ提出しました。

★委員会での主な意見

○自治体が国に先駆けて行ってきた総人件費の削減等の行革努力を無視し、国は地方固有の財源である地方交付税を公務員給与削減のための政策誘導手段として用いた。全国市議会議長会による地方税財源の充実確保に関する決議や全国市長会をはじめ地方六団体の動きとも連動したものであり採択。

○地方財政計画、地方交付税総額の決定に当たっては国の政策方針に基づき一方的に決するのではなく国と地方の協議の場で十分な協議のもとに決定することが重要であり採択。

○当市においても安定した財政運営に必要となる地方財政計画や地方交付税の確保が求められており、請願項目は理解できるので採択。

請願第2号

■慎重な審査の結果

「趣旨採択」としました

★請願の要旨

国に対し、年金2・5%の削減中止を求める意見書を提出願いたい

★請願者

全日本年金組合長野県本部飯伊支部
書記長 宮崎正史氏ほか1人

★委員会での主な意見

○国による経済政策の影響で食料品をはじめとする物価上昇は高齢者の生活

管内視察を実施しました

に大きな影響を与え、厳しさを増していることから、10月からの段階的な年金削減は中止すべきであり採択。
○将来世代への配慮もした年金削減は改正国民年金法の成立により行われるもので、請願は削減を中止するという現在の受給者だけを対象としたもので、不採択。
○特例措置による本来よりも高い年金給付の段階的解消は、結果として現在の高齢者の生活に大きな影響を与えることは理解できるが、総合的に安定的な年金制度の改正を求めるべきであり、趣旨採択。

実施日：25年5月16日

調査項目：

- ①庁舎整備事業
- ②災害対策緊急整備事業
(飯田駅西防災備蓄倉庫)
- ③地域活性化定住促進事業
(三穂ふれあい広場)
- ④集会所整備事業 (上久堅原平区)
- ⑤地域振興住宅整備事業 (上久堅)
- ⑥災害対策緊急整備事業
(松尾小学校防災備蓄倉庫)



災害対策緊急整備事業
(松尾小防災備蓄倉庫)

社会文教委員会

5月17日に管内視察、6月14日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管内視察の様相を紹介します。

議案第95号

平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案

保険給付費の詳細分析をしているか

▼保険給付費が増加傾向にあるが、保険給付費の詳細な分析をしているか
 一次医療、二次医療、三次医療におけるそれぞれの給付額といった詳細な分析は、現時点では行っていない。今後、検討したい。

▼詳細な分析により、地域健康ケア計画の取り組み成果が保険給付費に与える影響もわかるのではないかと
 保険給付費の伸び率は、自然増及び診療報酬の改定があり23年度比4.5%程度の増が見込まれる中、実際には2.8%増に収まっている。この要因や地域健康ケア計画の取り組み成果の分析についても検討したい。

国保会計の安定的な運営に必要な基金の額は

▼国の指針等で示されている安定的な運営に必要な基金の額は
 国の指針等では、過去3年間の平均保険給付費の5%が基準とされており、本市の場合では約3億円となる。本市の基金は、現在1億6千万円だが、25年度末においてその残高は、2千万円ほどとなる見込みである。

国保会計の今後の運営をどう考えるか

▼25年度は国民健康保険税の引き上げをせず、収入の不足分を基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れで対応することだが、今後はどうか
 今回は、基金の取り崩しで何とか対応できたが、今年度末には基金も底をついてしまう。保険給付費の自然増は3%と言われていることから、今後は、国民健康保険税の引き上げも視野に入れながら対応を考えなくてはならない。

議案第94号

平成25年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案

中国帰国者等生活支援事業の対象者数と支援内容は

▼中国帰国者等生活支援事業費について、市内に対象者は何人いるか、また、活動支援は今までに何を行ってきたか
 現在対象となっているのは21世帯、28人である。生活費を国の基準により支給したり、年一回交流の場を設けたりしている。また、地域によっては日本語教室を開催している。

戦前の新聞等のデジタル化の進捗率はまた、検索できるのか

▼図書館では「飯田下伊那地域で発行された戦前の新聞等をデジタル化する」とのことだが、その進捗率はどうか
 新聞については概ね9割、雑誌については5割が完了している。

▼デジタル化したデータの検索方法は戦前の新聞等は、文字が特殊で検索が有効に機能しないが、昭和30年代以降の新聞については、新聞閲覧システムにより検索が可能である。

管内視察を実施しました

実施日：25年5月17日

調査項目：

- ① 休日夜間急患診療所運営事業
- ② 新プラネタリウム運営事業
- ③ 小中連携・一貫教育推進事業（鼎小）
- ④ 矢高共同調理場設備更新事業
- ⑤ 特別養護老人ホーム等建設補助事業
- ⑥ 公立保育所施設整備事業
- ⑦ 上郷福祉企業センター運営事業
- ⑧ 地域子育て支援拠点事業
- ⑨ 宅幼老所整備事業
- ⑩ 飯田市立病院第3次整備事業



宅幼老所整備事業



飯田市立病院第3次整備事業

産業建設委員会

5月20日に管内視察、6月17日に委員会を開催しました。委員会での質疑、管内視察の様相を紹介します。

議案第88号

飯田市下水道条例及び飯田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について

なぜ、この時期に値上げか

▼経営安定のための使用料改定とのことだが、市民生活を考えると、この時期の値上げはどうか

リーマンショック以降、経済情勢が厳しいことは承知しているが、本来、使用料で経費をまかなうところを、加入促進のため基本料金を据え置いてきた経過がある。今年度が皆水洗化に向けた最後の年であり、今後、施設の維持管理を行っていく必要があるため、使用料の改定にご理解いただきたい。

値上げしない場合、一般会計繰入金への影響は

▼仮に値上げを行わない場合、一般会計の繰り入れにどのような影響があるか

さらに1億5千4百万円の市費の投入が必要となるが、税収が変わらない以上、他の事業の執行に影響すると思われる。

※本件については、使用料の値上げであり、市民生活に特に影響がある案件であるため、議員間の自由討議を行いました。主な意見は次のとおりです

●下水道事業は公共性が高く、福祉的な考えを持って取り組むべき。この時期に使用料の値上げはせず、公費でまかなうのが公共団体としての在り方ではないか

●公費負担も税金であり、税金をさらに投入するのはいかがか。

●格差がある中で公共の役割についての議論であり、下水道は市民全体が利益を享受しており、税金によるべきである。

●公費負担を行うにしても、他の事業の予算を削る必要がある。

●「福祉的な考えをもって取り組むべき」との意見について「下水道事業における福祉的な考えとは」

●水がなければ生きていけない。料金でまかなう前に公共的立場で事業を進めるべきである。

●「値上げはこの時期ではなくと言うのであれば、いつならよいと考えるか」

●施設維持の今後の見通しのこともあり、今は公費負担、その後、使用料の改定でよいのではないか。

●さらに1億5千4百万円の追加公費負担によって今年度は値上げが抑制でき

ても、公費負担は毎年必要になってくる。値上げはやむを得ず、市民に基本料金の値上げなどをきちんと説明すべきである。

●負担増がないに越したことはないというのが共通の意見だと思うが、国中で老朽化した道路、橋りょうなどの修繕が迫られているのが現実である。下水道においても施設維持管理の点から値上げはやむを得ない。

●値上げの背景を市民に対しきちんと説明するべきである。

■自由討議の後、条例の改正に反対の立場から討論があり

「下水道は人口9万人が対象であり、公共性が高い。リーマンショック以降、所得が10%低下する中で使用料の引き上げはありえない。基本料金における30%近くの引き上げは低所得者への影響が大きい。」との発言がありました。

■採決の結果、本案は賛成多数で可決されました。

議案第89号

飯田市企業人材確保住宅条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

企業の人材確保を支援するため、入居要件、入居期間及び使用料の額の改正

利用状況はどうか

▼現在の住宅の利用状況はどうか。

鳴地区では、住宅9棟のうち6棟が入居しており、千栄地区の住宅2棟は

入居していない。

▼利用が少ない原因をどう考えるか。引き合いがあったが入居に至らなかったケースを見ると、入居期間に5年という制限があること、また、使用料が近隣の貸家に比べ割高であることが理由であったことから、こうした条件が原因であると考える。

管内視察を実施しました

実施日：25年5月20日

調査項目：

- ①地域振興住宅整備事業(下久堅)
- ②グリーンバレー千代
- ③名勝天龍峡整備事業
- ④三和口ポティクス(株)
- ⑤果樹凍霜害の状況(三穂)
- ⑥メガソーラーいいだ
- ⑦防災対策避難路整備事業(竜丘)
- ⑧松尾浄化センター
- ⑨上郷第2配水池
- ⑩扇町公園(動物園)整備事業
- ⑪創業チャレンジ複合店舗
- ⑫中心市街地道路整備事業他(東和町)



名勝天龍峡整備事業



上郷第2配水池建設現場

議長記者会見を開催

6月25日、第1委員会室において議長記者会見を開催しました。

会見内容

- ① 改選後の議会の新体制
- ② 第2回定例会の主な内容
- ③ 議会報告会の日程等について



を3常任委員会に、議員の複数所属を単独所属に、見直しをしたことから、常任委員会の重要性が従来以上に大切なものとなった。議員間自由討議など活用し、議案審議を深め、議会の監視機能を一段と高める必要がある。また、これまで以上に委員会の専門性が高まることから、議員一人ひとりの資質を高めながら、委員会としての専門性の向上を図りたい。

● 主な内容

① 改選後の議会の新体制について
 常任委員会の再編成について
 所管分野を再編成し、4常任委員会

再編成後の委員会が所管する部局

委員会名	所管部局
総務委員会	総務部、企画部、リニア推進部、市長公室、危機管理・交通安全対策室、会計課、選挙委員会、監査委員事務局等
社会文教委員会	保健福祉部、市立病院、教育委員会
産業建設委員会	水道環境部、産業経済部、建設部、水道局、農業委員会

■ 「リニア推進特別委員会」を設置
 今年秋に詳細のルート、駅位置の公表が予定され、引き続き地域の課題や、将来像など議論をしていく必要性があるために設置した。

■ 「広報広聴委員会」を設置
 より開かれた議会、市民に身近な議会運営をめざし設置した。

■ 議会改革推進会議」を設置
 議会改革としてこれまで取組んだ事項の実践状況の確認、検討課題について引き続き研究していくために設置した。

② 第2回定例会の主な内容
 産業建設委員会において、制度創設後初めての「議員間自由討議」が行われた。議員間で活発な討議が行われ、議論も深まった。これについては、これまでの議会改革の実践として評価していきたい。

③ 議会報告会について
 例年同様、各まちづくり委員会に共

議会報告会開催日程

今年で5回目となる議会報告会を次の日程で開催します。
 多くの市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

開催日	該当する地区	会場
10月2日(水)	上村、南信濃	上村コミュニケーションセンター他
10月4日(金)	三穂、山本、伊賀良	伊賀良公民館
10月7日(月)	松尾、竜丘、川路	松尾公民館
10月9日(水)	座光寺、上郷	上郷公民館
10月11日(金)	橋北、橋南、羽場、丸山、東野	羽場公民館
10月15日(火)	下久堅、上久堅、千代、龍江	龍江公民館

時間 午後7時～午後9時予定
 平成24年度の議会報告会では461人の市民の皆さんに参加いただきました。



昨年の議会報告会の様子

催をいただき開催することとなった。議会活動への市民理解や信頼をいただく絶好の機会であり、報告会での意見や要望を、しっかりと受け止め、今後の政策立案、提言につなげていきたい。

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～日頃の心がけが大切～

竹村 圭史

最近、小学校2年生の子どもが「剣道をしたい。」と言うようになり、私自身もいい機会だと考え剣道を再開しました。

私は、子どもと同じ小学校2年から剣道を始め、20代半ばまでは、まがりなりにも真面目に稽古に励んでいました。しかし、もらい事故(追突)による腰痛が思いのほか重かったため、それがきっかけで稽古から遠ざかっていました。ここ十数年は、年1回ある会社の大会に出かけるだけで、しかも「体力がもたない。」と勝手な言い訳をつけて、その稽古もやらない有様でした。

久しぶりの稽古は、昔の貯金(持久力)はとうに使い果たし、運動不足に加え、筋肉ではなく脂肪がつきすぎた体型では子どもの相手もままならず、日頃の心がけの悪さを痛感した次第です。

「子ども」がきっかけを与えてくれたことに感謝し、体力と健康維持のため、細々ではありますが、「生涯現役」を目指し精進していきたいと思っています。



～無駄と知恵～

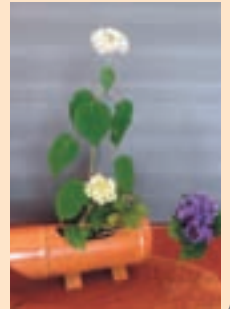
木下 徳康

アジサイも終わりになる時期です。我が家には6種9株があります。枯れた花は切り取っておいた方が木のためには良いとのこと。また、株の中心から脇に出て地面を這うように伸びた枝や異常に枝数が多く分岐しているものもあります。それらを対象として剪定しております。この時切り取ったものの枝ぶりがいいので、それを生花にしてあります。色は青、紫、白、赤と、山アジサイ、額アジサイといろいろと種類もありますので、組み合わせでいろいろ楽しめます。

桜は枯れる前に花を舞わせませす。椿は木と地面で2度花を咲かせませす。アジサイも知恵を使えば2度も3度も咲かせられる気がして楽しいです。

どんな物でも、無駄だと思っても使い道を考えれば有用なもの、楽しいものにもなると思うのです。

で、私は物の片付けが出来ないので。



この欄では、傍聴者からのアンケートにより、市議会へ寄せられた市民の皆様の声を紹介いたします。

■議員一人ひとりが、真剣に意見を展開し、身の回りのことから、市全体のこと、将来のことなど市民のために日々努力していただいている様子がわかった。(男性)

■議員が大事なことを質問し、職員もていねいに答弁していたが、どちらも用意したものを読んでいる感が強かったように感じた。もう少し、自分なりの考え、思いを加えていただけると良かった。(男性)



市議会ウォッチング



議会中継をしています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、一般質問の様様をユーチューブ(インターネットによるオンライン動画配信サービス)で中継しています。ユーチューブは録画映像も見られます。ぜひ、ご覧ください。<http://www.city.iida.lg.jp/>

編集後記

季節感がなくなるような今年の陽気。飯田下伊那地域には凍霜害がもたらされました。被害を受けられた皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

今回の議会の産業建設委員会で「下水道使用料値上げ案」について、議員間の自由討議が初めて行われました。今回の論議では、結論が全員合意には至らなかった。しかし、討議することによって、「政策合意」に至る道筋が見えてきたような気がします。

議会改革の重要課題である「議員間の自由討議」「政策討論会」が市民の皆さんの胸に落ちるように議会として努めてまいります。

議会の動き(予定)

- 議会への請願・陳情の締め切りは
8月21日(水) 午後5時です。
議会事務局へ提出してください。
- 第3回(9月)定例会は8月27日(火) 開会

広報広聴委員会

委員長	木下 容子	副委員長	湊 猛
委員	木下 徳康	熊谷 泰人	古川 仁
	新井信一郎	福沢 清	村松まり子